

## 世田谷区議会企画総務常任委員会（2月6日開催）で出された意見

No	意見
1	<p>町会・自治会、商店街について、だいぶ内容が盛り込まれたと思う。計画の体系イメージの絵があったと思うが、その中にDXの推進とあったと思う。他の案件においても、高齢者に対して「せたPay」の使い方を丁寧に説明し、もっと推進すべきじゃないかということを行ったが、町会・自治会の今のあり方、例えば若い人が町会・自治会に参加しない、加入率が悪いということについて、例えば役員になったとしても、集まりがあってその時間に出られないとかそういう要因があるとすれば、例えばオンラインでの会議に出られるとか、そういうことを構築していかないと、その推進にはならないと思う。普段からのスマホ教室をもっと充実させるとか、あらゆる機会ですりやういうことをすることによって、こういうことの効果も出てくると思う。いろんなことが、たぶん一つの政策を進めることによっていろんなところに効果が波及できると思う。そういうことをもう少し審議会で議論していただきたい。あと、ワクワクするということのイメージが、自分が子どもの時のことを考えて、ワクワクするとはどういうことかということ、人に喜ばれる、人のためになった時に人ってワクワクできるというか、生きがいを感じる、そういうことがワクワクだと思う。ワクワクするというのは、何か楽しいからワクワクするということもあるけど、継続できるワクワクというのは、人に認められるとか、人のためになる、そういうことだと思う。ワクワクという意味の定義などについて、もっとご議論いただきたい。</p>
2	<p>子どもど真ん中ということも書いてあったが、子どもの成長にとってもそれはすごい必要なことだと思う。あと、ステークホルダーの方々のいろいろな意見があったと思うが、現場の意見はすごい大事だと思うので、現場の意見を審議会の中に取り入れられるというのは非常によいことだと思うので、ぜひ推進していただきたい。</p>
3	<p>委員会の中で、何度か世田谷区の人口構成の現状について話をし、それを世田谷区の今後の基本構想の中でどのように課題を解決していくのか、また、行政サービスの受け手である区民の現状にあわせた行政サービスのあり方ということも含めて検討する必要があるということで話をしてきたが、特に他の自治体と比べて、世田谷区が特筆すべき人口構成の特色としては、一人暮らしの世帯が全世帯のうちの53%もいるというのは、他の23区の自治体と比べても特に大変多いと感じる。あと、夫婦のみ世帯は全体の17%、両方合わせると70%。このようななかで、将来的には子どもが増えていかないと持続可能な社会はつくりえないため、「子どもど真ん中」という政策は政策目標としては重要なことだが、現に暮らしている区民に対する住民サービスということで考えれば、人口の構成ということはずごく重要な視点であって、何度か話をしている一人暮らしに対する施策だったり、夫婦のみ世帯に対する施策であったりというような考え方を明確に盛り込むべき。</p>

No	意見
4	<p>多様性ということだけに住民の人口構成の問題などを含有してしまうというのは乱暴だと思っていて、「多様性を尊重します」ということは、今の時代いろいろな自治体で言っているわけで、人口構成上の世田谷区の特徴を多様性ということによって言ってしまうということは、ちょっとどうなのかなと思う。あくまで、世田谷区には一人暮らしの方がすごく多く、子どもがいらっしやなくて夫婦のみの世帯というの、すごく多い。じゃあ、こうした状況を踏まえ、手当て・サービスはどのようにしていくのかと、それはそれで一つの課題であって、そこに関する文言が一切ない。一人暮らし世帯が抱える問題、夫婦のみ世帯が抱える問題、そういう文言が一切ないということが、区としての問題意識が欠けているんだというふうに思う。やっぱり一人暮らし世帯や夫婦のみ世帯が抱える問題とか、基本計画の中で文言としてちゃんと入れていただきたい。いろいろな他の議員の方とか国会議員の方とかにいろいろと話をすると、世田谷区ってこういう現状なんですと話をすると、びっくりされる。「世田谷区ってそんなに一人暮らしがいるんだ」と、大変びっくりされる。半数以上は一人暮らしの世帯ということなので、行政側として、今後の計画の中でこの問題について真摯に取り組んでいくという姿勢が、文言が無いので無いのかなと思う。この問題にちゃんと真摯に取り組んでいただくためにも、一人暮らし世帯という問題、これ全世代的に多い。高齢者の一人暮らしだけではなくて、若年層もそうだし、若い青年層もそうだし、世田谷区って一人暮らし世帯ってというのがすごく多い。学生が多いということもあると思うが、その問題に関してしっかり取り組んでいただきたい。そのことに関する文言が一つもないのは、ちょっとおかしいのではないかな。</p>
5	<p>ステークホルダーからの意見聴取の結果は、それぞれ大変な分量で色々な意見が出ている。つぶさに見ていると若干レイヤーが違い、非常に細かい要望的なことも含まれているという感想を持った。案に対する表現や言葉の使い方について、違うのではないかなという意見も結構みられたが、そういうものは受け止めたとして、今後どのように返していくのか。団体としても、また区に対する影響が大きいのではないかなという思いもあって報告されたと思うが、説明ないしは、言葉を実際に変えていくとか、全体の感想についてどのように思っているか。</p>
6	<p>区としては参加と協働という大きな土台をつくってやっていくという方針の中で、基本計画の策定プロセスにも参加と協働が非常に重要だということでステークホルダーからも意見をもらいながらやっているのだと思う。意見を出していただいたからには、回答に対する返しが非常に重要になってくる。キャッチボールをせずにそのままになってしまうと、それこそ参加と協働からかけ離れてしまうため、その対応はしっかりと行っていただきたい。特に細かな要望については、基本計画とは直接関係がなくても、所管にしっかりと渡し、所管から今回の意見聴取の中で出た意見について、このように我々は考えている、出来る出来ないも含めてお返ししていくことも必要だと思う。</p>

No	意見
7	<p>ステークホルダー意見聴取について、意見聴取をしている団体等を見た時に、例えば一人暮らしや夫婦のみ世帯の団体がなければそういった人たちの意見は反映されないということか。基本計画を検討していく中で、声の大きい人の意見だけを拾ってそれを世田谷区の将来に結び付ける計画に反映させるだけでは、足りないと思う。声にならない声があるため、そういう方たちの意見を、審議会を補完する意味で行政として、声を上げられない、もしくはこういう計画の中で団体が無いような方たちの声をどういう風に反映をしていくかということに関しても、行政としてしっかりと検討していただきたい。</p>
8	<p>世田谷区は意見聴取のあり方として、例えば新聞折り込みをしたり、色んなことをやっているが、その回収率はどうか。回収率が良いというふうには聞いていないし、そもそも世田谷区の区民の方にこういうことが決まったという話をすると「そんなこといつ決まったのか」といわれることが多く、区としての広報なり住民参加といっても、一部の人たちしか参加していない。ホームページなどで意見聴取はこういうふうにしていますよというのは、アリバイ的に行っているが、本当に区民の皆さんが分かるのかというとなかなか分からない。色々なチャンネルを通じて意見聴取をしていくというのは大切で、世田谷区として大変重要な方向性を決めるということを区民の皆さんに参加していただいて決めるということは大事なことである。声の大きい人の意見ばかり聞くのではなく、偏りがないように声にならない声をもっている方の意見を拾えるような仕組みをしっかりとつくっていただきたい。</p>
9	<p>SDG s について言及があり、そもそも目標が 2030 年までの話であるということと、今世界中で SDG s あるいはサステナブル開発目標というものがどれだけ話題になっているのかということのを改めてみてみたが、極めて日本で局地的な盛り上がりをしており、あとはジンバブエなど。といったなかで、世田谷区が 2033 年に向かってつくるものにどれだけ SDG s というものを組み合わせていくのかということのを是非改めて考え直した方がよいのではないか。詳細の内容自体を否定するものではなく、ぜひ達成をしていただきたい内容だと思うが、10 年後を見て、古臭い計画に見えないような注意をしてもらいたい。</p>